強靱化へ決意新た

札幌建協が新年交歓会

岩田会長（右）らが鏡開きをし、ことしの繁栄を願った

札幌建設業協会は6日、札幌グランドホテルで新年交歓会を開催した。会員や来賓ら約370人が出席。地域の発展や安全安心の確保に向けて事業執行に努め、インフラ強靱化に取り組む決意を新たにした。

岩田圭剛会長は、2020年度の北海道開発予算案について15カ月予算として約7500億円が盛り込まれたことに感謝した。

台風や地震などの大規模災害に対しては「市民の生命、財産を守り重要なインフラの強靱化を支える建設業の使命や役割は広く認識されつつあり、期待に応えていく必要がある」と話し、BCP（事業継続計画）の高度化を図っていく。

東京五輪でのマラソンや競歩の札幌開催に触れ「国際都市として魅力を全世界にアピールできる絶好の機会になる。地域を支える建設業として大会の成功を支え、まちづくりに貢献したい」と意気込みを語った。

来賓の後藤貞二北海道開発局長は、週休2日確保の促進やi-Constructionによる生産性向上など、建設業の働き方改革に取り組む方針を伝えた。

岩田会長や伊藤義郎名誉会長ら6人が鏡開きをし、北海道建設業信用保証の吉田義一社長が乾杯の発声をして祝宴入り。ことし1年の抱負を語り合い、土木工事に焦点を当てた建設業PR漫画の動画版も公開した。

コンクリートひび割れ抑制ファイバー
JIS Q1000に基づきJIS A6208に適合
クラックバスター
Fine

2.1.-7
北海道建設新聞

BCP高度化へ取組を

札建協が新年交歓会開催

札幌建設業協会（岩田圭剛会長）は6日、札幌グランドホテルで新年交歓会を開催した。岩田会長は2020年度の道開発事業費（案）約7500億円について「予算を余すことなくその対応に努め、地域の発展と安全・安心の確保を担っていく」と強調。インフラの強靱化を支える建設業の使命を果たすため「BCPの実効性や高度化に向けた取組を進めていく」と誓った。

会場には会員企業の関係者のほか、本道選出国会議員、関係行政機関、経済界等の来賓を含めて約370人が出席した。

岩田会長は、予算の円滑な執行、地域の強靱化に強い意欲を示すとともに、業界の喫緊の課題である働き方改革について「職場環境や労働環境の改善に努め、関係機関と連携し担い手の確保や育成・定着に取り組んでいく」と訴えた。

また、東京オリンピック・パラリンピックで札幌開催となるマラソン、競歩等に対し「札幌の魅力を全世界にアピールする絶好の機会。地域を支える建設業として、その街づくりに貢献したい」と支援していく考えを明らかにした。

来賓祝辞では、開発局の後藤貞二局長が「ことしは第8期北海道総合開発計画の中間点検の年。世界の北海道を目指し施策を着実に推進し、成果を上げていく」、道の鈴木直道知事が「河川・道路・農林水産の基盤整備など、公共事業の予算を確保し国土強靱化に努めていく」と新年の抱負を語った。

このあと、伊藤義郎名誉会長、岩田会長、吉田義一北海道建設業信用保証㈱社長、後藤局長、浦本元人道副知事、吉岡亨札幌市副市長の6人が鏡開きを行い、吉田社長の音頭で乾杯した。

出席者は各テーブルで新年の幕開けを祝うとともに、イメージアップで制作した第2弾となるPR動画「ただ今工事中〼土木工事編」が会場で放映され、ダイジェスト版を視聴した。

動画は札幌建管発注の「望月寒川河川トンネル」工事をモデルに、アニメと実写による2・5Dアニメーションで作成。協会は、そのアニメーションを収めたDVD2000枚を、今月中に道内の全高校に配布することにしている。

岩田会長は、公共事業予算について、余すことなく対応していくとした

2.1.-7
北海道通信